

玉垂



初夏の一宮はなしょうぶ園（平成27年6月6日）

<http://www.okunijinja.or.jp>

巻頭言

此の度の熊本地震では、九州地方に甚大な被害を及ぼし、多くの尊い命が失われました。改めまして、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。困難の中にいる人々が一日も早く普通の生活を取り戻すことができるよう、これからも国民が心を一つにして寄り添っていくことが大切であると存じます。

さて、平安時代から受け継がれる日本の色彩感覚の中に「重ねの色目」と呼ばれる大変美しい色調があります。これは、表と裏の色の組み合わせにより季節の色を表現し、またその色彩の衣を身に纏うことで自然との一体感を楽しみました。特に、菖蒲にまつわる色のバリエーションは大変豊かで「菖蒲」「破菖蒲」「若菖蒲」「根菖蒲」「菖蒲重」などがあります。これらは、菖蒲の花や葉の色に留まらず、根の色までも季節の色彩として取り入れています。私たちの祖先は、自然と共に生きる中で、自然を丁寧に観察し、それらを生活の中に取り込み、文化芸術へと昇華してきました。このような「共生の精神」のなかで培われた豊かな感性が今、世界から注目を浴びています。

一方、我が国を取り巻く国際情勢は、中国による東、南シナ海での行為のように国際法を無視した様々な「力」による現状変更が行なわれています。また、サイバーテロなどの脅威は日常生活の中に入り込み、どこからが有事なのか区別がつきません。このような暴力的拡張主義や対立などで世界が揺れる中、我が国が果す役割は、時代に則した国防力を整備しつつ、民主主義と法の支配を尊重する価値観を世界各国と共有する事です。また、古来先人たちは、神々が宿る自然を「畏れ慎む心」と恵みへの「感謝の心」を大切に、和の文化を育んで来ました。そして、そこに象徴される精神や伝統あるいは優れた技術力を世界へ発信することも、日本らしい国際貢献であると存じます。

昨日、伊勢志摩サミットに出席するG7の首脳が伊勢の神宮を参拝されました。我が国の伝統文化に直接触れて頂くことは、大変有意義な事だと思いました。

平成二十八年五月二十七日

例祭の斎行

四月十八日（月）、当社で最も重要なご祭儀である例祭を斎行いたしました。十八日はご祭神が本宮山に出現された縁日にあたります。

四月十四日（火）、末社塩井神社の垢離祭にて神職・舞楽人が身を清める塩水を汲むお祭りを執り行い、十七日（日）、前日祭の斎行、同日、ご神霊がお出ましになり人々と共に喜びを分かち合う神幸祭を執り行い、十八日には厳肅且つ盛大裡に例祭を斎行いたしました。

○ 本年の例祭には、和銅五年約一三〇〇年前より当社のご祭神大己貴命のご



宮司以下奉仕者の参進（4月18日）

分霊をお祀りし、山形県西置賜郡小国町に鎮座する大宮子易両神社宮司遠藤胤睦様をはじめ関係各位にご参列をいただきました。

また、十六日、十七日には奈良時代より受け継がれる国指定重要無形民俗文化財『十二段舞楽』が、古式舞楽師匠会のもと氏子青年会と地元小学生が中心となり奉納されました。古より変わることなく続く大神様へ捧げる真摯な「祈り」の舞楽に多くのご参拝の皆さまが高い関心を寄せていました。

氏子崇敬者の皆さまにおかれましては大神様のご加護を受けられ、益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



勅使役奉仕者 衆議院議員 宮沢博行様（4月17日）



古式十二段舞楽「神麻久」の奉奏（4月17日）



神幸祭 巫女舞の奉奏（4月17日）



舞楽奉仕者と参拝者のふれ合い（4月16日）



古式十二段舞楽「陵王」の奉奏（4月17日）

献茶祭の齋行

四月十四日(木)午前九時三十分より献茶祭を齋行いたしました。
銘茶の産地森町で茶業を営む方々により結成された『小國神社献茶会』が国家の安泰、国民の繁栄、茶業の振興を祈り、新茶をお供えして行なわれるお祭りです。

今年の献茶式は煎茶道中山弘薫様、紋谷弘光様のお手前によりご奉仕いただき、森町茶商組合組合長島謙三様、森町長太田康雄様を始め大勢の皆様にご参列賜りました。

この献茶式に献上されたお茶と同品質のお茶「福德神饌茶」が小國ことまち横丁で販売されています。ご参拝の折に是非、ご賞味下さい。



献茶式のお点前 中山弘薫様(左)紋谷弘光様(右)(4月14日)

端午祭の齋行

五月五日(木)の午前十時より端午祭を齋行いたしました。当社で命名奉告のご祈禱を受けられたお子様と、そのご家族にご参列いただきました。お子様の健やかな成長に感謝を申し上げますと共に、今後のご加護をお祈りいたしました。

祭典後にはお神札と柏餅、ご神域で育まれた菖蒲とよもぎの葉を授与いたしました。端午の節句は菖蒲の節句と呼ばれ、もとは宮中行事として行われ、江戸時代に民衆に広がった伝統行事です。

当日は、子どもたちの元気な声が境内に響き渡り、大神様もさぞお喜びの事と拝察いたします。



端午祭にて菖蒲とよもぎの授与 (5月5日)

本宮山青葉祭の齋行

五月六日(金)十一時、芽吹き緑の鮮やかな新緑の中、本宮山奥磐戸神社を清々しい黒文字の木で飾り、責任役員様を始め氏子崇敬者約六十余名のご参列のもと、青葉祭を厳粛に齋行いたしました。

祭典後、本宮山神札と撤下品を授与し、直会では遠州灘を遙かに望みながら古式神酒と旬の初鰹の刺身を頂き、ご神恩に感謝いたしました。

毎月六日には月次祭が執り行われます。どなたでもご参列いただけますので、ご登拝下さいますようご案内申し上げます。

奥磐戸神社へのアクセスは当社公式ウェブサイトに掲載しておりますのでご確認ください。



本宮山青葉祭 お神札の授与 (5月6日)



宮代神饌田「御田植祭」にて旭が丘中学校生徒によるご奉仕(平成27年5月31日)



宮川棧敷オープン清祓(4月29日)

禰宜・参事就任のご挨拶



禰宜 梅林 布男

この度、四月一日付を以て禰宜に任せられました。

これも偏に宮司様を始め、皆様のご長きに亘るご指導、ご鞭撻のお陰と篤く御礼申し上げます。

これよりは、重き職責を受け止め、大御様のご加護のもと宮司を輔け、神社の長い歴史の中で今日まで護り伝えられてきたこと、時代に柔軟に対応しながら受け継がれてきたことに思いを致し、次代を担う職員と共にご神徳の発揚に邁進して参りたいと存じます。

これからも変わらぬご交誼を宜しくお願い申し上げます。



禰宜 土屋 克彦

この度、四月一日付を以て禰宜に任せられました。

新年度より社内の改組が実施され、二部四課制となり、総務部を担うこととなりました。素より浅学非才の身にて、今は只その職責の重さに襟を正している所でございます。

この上はご祭神のご加護のもとご神威を畏み宮司を輔け、微力を尽くし祭祀の厳修とご神徳の発揚に精励致す所存であります。何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



参事 近藤 哲朗

この度、神社規則変更に伴い、四月一日付を以て浜松市浜北区灰木に鎮座する六所神社に本務変更を行ない、小國神社参事に任せられました。

この上は、ご祭神のご加護のもと次代を担う職員の指導と、ご社頭の繁栄、ご神徳の発揚に微力を捧げたく存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新責任役員・新総代のご紹介

◆ 責任役員 ◆

鈴木三千雄 松井 宏悦

岩瀬 静夫 亀山 銀男

新員 五郎 毛利 多克

◆ 総代 ◆

宮代西 地区 松井 宏悦

宮代東 地区 松尾 周弘

谷 崎 地区 内山 博文

片 瀬 地区 鈴木 清浩

大久保 地区 山浦 正見

米 倉 地区 天野 捷征

赤 根 地区 鈴木 忠正

赤 根 地区 山本 光男

赤 根 地区 岡田 陽介

赤 根 地区 下原 融

橘 地区

草ヶ谷 地区 森松 健次

円 田 地区 菅沼 壽雄

谷 中 地区 小澤 芳巳

谷 中 地区 新員 五郎

谷 中 地区 北島 廣保

谷 中 地区 嶋田 健吾

中川上 地区 村松 義市

中川下 地区 朝比奈 守

中川下 地区 鈴木 征夫

中川下 地区 山本 泰幸

牛 飼 地区 山本 充喜

牛 飼 地区 鈴木 開次

牛 飼 地区 鈴木 伸也

(平成二十八年四月一日付)敬称略・順不同



小國神社総代任期満了奉告祭 (3月18日)



古式十二段舞楽合宿稽古風景 (3月24日)



勸学祭に参列の新小学一年生 (4月2日)

小國神社敬神婦人会 設立六十周年記念式典の開催

平成二十八年三月三十一日(木)に当社敬神婦人会の設立六十周年記念式典を大宝殿にて開催いたしました。当日は、ご来賓として静岡県敬神婦人連合会会長山田益美様、森町議会議長片岡健様をお招きし、六〇年の足跡を辿ると共に敬神婦人としての資質の向上と神明奉仕への心構えを新たにいたしました。

また、記念事業として拝殿用木製四人掛け胡床十二脚を大前に奉納いたしました。従来の胡床よりも座り心地が良く、ご参拝の皆様にご好評を頂いております。

式典後には会員有志による日本舞踊などの清興も行なわれ、終始和やかに親睦を深めることができました。



小國神社敬神婦人会会長新貝加代子様による式典のご挨拶 (3月31日)

「日本の神話に親しむ会」 小國こまち横丁上演の実施

四月三十日(土)五月八日の大型連休期間に日本の神話に親しむ会の皆様による大型絵巻物神話「大国主の物語」が小國こまち横丁で上演されました。

この絵巻物作品は、静岡市在住の絵本、造形作家たたらなおき氏が制作され、親しみやすく、色彩豊かで柔らかい画風が特徴です。

日本の神話は、日本の良き国柄、文化、伝統を今に伝えるとともに、神々の営みの中から「正しい道筋を立てて生きていくこと」や「おもいやりの心」を学ぶことができます。

会場では、読み手の感情豊かな話ぶりに連日、多くのご参拝の皆様が神話の世界に引き込まれていました。



大型絵巻物『大国主の物語』の読み聞かせ (5月1日)

「小國神社と人と暮らしと かみのたな展」の開催

四月二十九日から五月八日までの期間、当社研修室の特別展示室にて(有)静岡木工様が「小國神社と人と暮らしと かみのたな展」を開催いたしました。

日常の「感謝」の気持ちを届ける祈りの場「かみだな」を設けることの大切さと「家庭のおまつりのころ」を伝える展示会となりました。近年主流となりつつある現代の建築様式にも馴染む「かみだな」や「神具」を多数揃え、多くの人々が関心を寄せていました。

また、当社での開催に合わせ、ご祭神、ご由緒についての展示やお神札についての解説展示も行われました。開催中は約三五〇〇名の来場者があり、普段の参拝では知ることができない神社や神道についての理解を深める機会となりました。



神さまを身近に感じて始める丁寧な暮らし



神だなや神具、小國神社の歴史をご案内するスタッフ (4月29日)



賑わいの展示会場 (4月29日)

小國神社参拝土産 『御神紋チョコレート』のご案内

この度、安政元年に創業し現在明神通り沿いに店を構える「久米吉」様より小國神社参拝土産『御神紋チョコレート』が発売になります。

御神紋が印されたお菓子を頂くと、いう起源は平安時代までさかのぼります。嘉祥元年六月に疫病が蔓延していた事から、ご神前にお菓子とお餅を供えて疫神鎮齋を祈願した故事に由来しています。以後、宮中や武家社会にとどまらず多くの人々へ広く浸透していきま

した。ご参拝の折に、特別な参拝土産としてお求め下さい。本年十月頃より久米吉本店、小國ことまち横丁で購入できます。



縁むすび 御神紋チョコレート (5月1日)

静岡県歌人協会前会長 樽松靖彦様による和歌のご紹介

この度、前静岡県歌人協会会長で前伊勢神宮崇敬会静岡県本部副本部長の樽松靖彦様が当社をご参拝の折、和歌をお詠み下さいました。

霧雨に濡れ、潤いを携えた美しい森の清々しさやご神域の神秘的な光景が目の前に浮かびます。

ご参拝の皆様には、この美しい和歌のように雨の日にもご参拝いただければと存じます。晴れの日には感じる事ができない特別な静謐さがご神域を包みます。それでは、和歌のご紹介をいたします。

霧雨の

古代の森より

戻り来て

傘の青葉の

しずくとぼらう

樽松 靖彦



一宮花しようぶ園の開園

五月二十一日より一宮花しようぶ園が開園いたしました。「小國ことまち横丁」西側の園内では、約一三〇種類、四十万本もの花菖蒲が咲き揃います。日本の園芸文化の粋と称される花しゅうぶは、品種により早生、中手、晩生と花の咲く時期が異なるため、六月中旬頃まで、色とりどりの花々を順にお楽しみいただけます。

また園内では、花菖蒲の株分け販売もおこなっておりますので、係員にお申し出ください。

当社公式ウェブサイトにて開花状況を随時お知らせしております。ご確認の上、皆さまお揃いでご来園下さい。



花菖蒲の開花 撮影：光飛田悦子様 (平成27年6月6日)

古代の森シリーズ 47

麻

「麻」は古来より日本人には身近なもので、縄文時代には既に麻布として使われていました。「麻」の字は神道では「ぬさ」と読むことがほとんどです。お祓いの際に神職が振る「大麻」が代表的なもので紙垂と麻を使って作られ、人の罪穢を麻に移すことで祓います。

また、「ぬさ」と読む字に「幣」があります。神様への捧げ物である「幣帛(へいはく)」に麻布が含まれていることから、麻を清浄なものとして扱った事が伺えます。

日本の麻生産者は現在も減少を続けており、伝統文化の衰退が危惧されます。



お祭りを始める前には必ず大麻でお祓いをします

まつり歳時記

七月〜十二月

七月 文月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 三十一日 境内地讓渡記念祭 (午前九時)
- 三十一日 愛宕神社例祭 (午前十時)

八月 葉月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十日 甲子祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

九月 長月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十二日 秋季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 二十五日 御柱祭 (午前九時)

十月 神無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 八日 白鬚神社例祭 (午後二時)

十一月 霜月

- 九日 甲子祭 (午前九時)
- 十七日 神嘗祝祭神嘗遙拝式 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前十時)
- 十八日 福神像頒布式 (午前十時)

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 明治祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 七日 山神社例祭 (午前十時)
- 十五日 七五三祝祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭・稲祭 (午前九時)
- 十九日 疫神齋 (午後二時)
- 二十一日 地鎮祭 (午前九時)
- 二十三日 新嘗祭 (午前十時)
- 二十六日 紅葉祭山芋賞味会 (午前十一時)
- 二十七日 もみじまつり (午前十時)

十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 八日 甲子祭 (午前九時)
- 十二日 鎮火祭 (午後三時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 二十三日 天長祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十一日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

命 名

平成二十八年三月一日

平成二十八年四月三十日

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| 杉本 穂香 | 袋井市 | 佐藤 那音 | 掛川市 |
| 戸塚 悠仁 | 浜松市 | 河村 陽彩 | 袋井市 |
| 中田 晴斗 | 菊川市 | 山田 悠翔 | 袋井市 |
| 平野 友登 | 浜松市 | 青野 結斗 | 掛川市 |
| 佐藤 駿 | 掛川市 | 難波 心 | 藤枝市 |
| 保坂 緋彩 | 磐田市 | | |

○当社では、お客様の命名を申し受けております。

夏越大祓式のご案内

六月三十日(木) 午後三時より夏越大祓式を斎行いたします。大祓式とは心や身体に溜まった罪や穢れを身代わりとなる人形に託し、祓い清める日本古来の伝統神事です。

特に夏越大祓式では、茅を編み込んで奉製した「茅の輪」をくぐる神事を行います。この神事は奈良時代編纂の備後国風土記に記された神話にその源流を見ることが出来ます。

六月より社務所受付にて大祓人形を授与いたします。また、当社公式ウェブサイトで内でもご案内を掲載しております。

当日は、どなたでもご自由に参列が出来ますので、ご家族お揃いでお越し下さい。暑い夏を無事に乗り越えられるようにお祈りをしながら、茅の輪をくぐり抜けて下さい。



夏越大祓式「茅の輪守事」(平成27年6月30日)



夏越大祓式お申し込み期間の特別授与品「茅の輪守」(初穂料600円也)

宮川森林浴ウォーキングのススメ



宮川沿いの青葉もみじのトンネル (5月5日)

若葉の鮮やかな緑で包まれる初夏から力強く緑が深まる晩夏にかけては、宮川沿いの森林浴ウォーキングがおすすめです。森林浴には人の気持ちをはりラックスさせ、免疫力を高める効果があると科学的にも注目を浴びています。緑の中を歩く心が安らぐのは誰もが経験のあることだと思います。

ご神域を南北に流れる宮川沿いでは、青葉もみじの隙間からこぼれる優しい光や清流のせせらぎ、野鳥のさえずりに耳を傾けると、一層穏やかな気持ちになります。

又、高低差が少なく歩きやすい宮川沿いは老若男女問わずウォーキングに最適な散策路です。

普段の生活から少し離れ、ご神域に溢れる自然の恵みを全身で感じて下さい。

縁結びもみじ守の紹介



当社のもみじを形取り一体つつ丁寧に奉製しています(初穂料800円也)

当社のご祭神大己貴命(だいこく様)は古より、人々の様々なご縁を結んだ神さまとして広く知られております。

「もみじ守り」は、当社の美しいもみじの葉の形を水引を使って形取り、縁起の良い「叶結び」で結び、丁寧に奉製したお守です。瑞々しい青葉色と鮮やかな紅葉錦色の二種類を授与しております。

青葉の眩しい季節から紅葉の季節にかけて多くの皆様がお受けになります。

ご参拝の折には、「だれもが幸せであるように」との神さまの御心をいただかれ、『幸せのご縁』を結ばれますことを心よりお祈り申し上げます。

斎庭の草花⑦

—シライトソウ—



白糸草

シライトソウ(白糸草) ユリ科
花期五月〜六月草丈二十cm〜五十cm
分布本州・四国・九州

シライトソウは低山の森林や草に深く覆われた場所に生える多年草です。その咲き姿は美しく、シライトソウの名は糸を束ねたような花の姿に由来します。

晩春から初夏に細長い花茎を直立させ、茎頂に白色六弁の細かい花を多数穂状につけ、まるで真つ白な筆が立っているかのような不思議な姿を見ることができま。

「ゆっくりとした時間の流れ」を言葉に持つことから、森林浴が楽しめる初夏のご神域にびっぴりな花です。



森町立森中学校の生徒による神社体験学習 (4月29日)



神幸祭 お稚児さんご奉仕の皆さま (4月17日)



大阪府「十日会」の皆さまのご参拝（大阪天満宮宮司・寺井種伯様（中央））（4月26日）



（有）一十園様ご奉納のヤブツバキの植栽風景（4月19日）

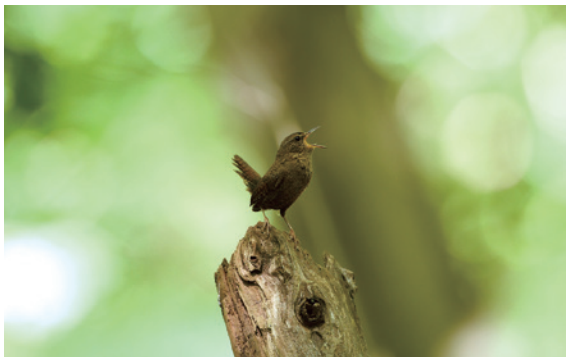
「小國の杜」点描



日本画家栗原幸彦氏日本画作品「小國神社」のご奉納（5月1日）



シャクナゲの開花（4月14日）



ご神域に飛来したミソサザエ（撮影：野末昌稔）



古式十二段舞楽「色香舞」の奉奏（4月16日）

平成二十八年六月一日
 「玉垂」（たまだれ） 第四十七号
 題字揮毫 神社本廳元総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七一〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
 電話番号 〇五三八（八九）七三〇二
 FAX 〇五三八（八九）七三六七
 印刷 （有）デザインオフィス エムエスシー

表紙写真について

平成二十七年六月六日（水）午前十一時頃に撮影をいたしました。雨の恵みを受けて、花しよぶは一層鮮やかさを増します。

○小國こまち横丁にて今季から新発売の『お濃茶ソフトクリーム』は、濃厚なお濃茶のソフトクリームと添えられたみたらし白玉の相性が抜群の逸品です。ご参拝の折、是非ご賞味下さい。

編集後記

○「玉垂」四十七号をお届けいたします。

夏鳥が飛来する季節になりますと、「日本野鳥の会・遠江」の皆様がバードウォッチングに来られます。お話を伺ったところ、当社のご神域約には約四〇種類の野鳥の棲息が確認をされているそうです。早朝のご参拝では、火の鳥の異名をもつアカシヨウビンに出会えるかもしれま

新職員紹介

巫女 藤原 優花
 ご指導・ご鞭撻の程
 宜しくお願いいたします。